

【七月の言葉（令和五年）】

すべてのものは、

みな”縁”によって起こっている。

植物学者の稲垣栄洋氏いながきひでひろが「植物が花を咲かせるのは、昆虫を呼び寄せ花粉を運んでもらうためです。よく、花は”無心”に咲いていると言いますが、そんなことはないのです。すべての色と形には必ず意味があるので、”何気”に咲いているということは「花はなぜ美しいのか？」無心”に咲いているからだ」という言葉が好きだった私にとって驚きでした。続いて次のようにも述べておられます。

「花つてすごい戦略家で、黄色い花や紫の花も意味があり、春先に咲くタンポポや菜の花が黄色なのは、気温が低い時期から活動し始める小さなアブの好む色だからです。紫の花は、紫外線が見えるハチの仲間を呼び寄せるためです」

すべての存在は皆、縁によって起こっているものであり、「結果（果）」があるということは、必ず「原因（因）」があるのです。

森羅万象しんらばんしやう、すべての存在は、縁起の道理・因果の道理によって存在しているということです。